

「江戸押絵ってなんだろう？」

表現 図画工作・美術 伝統・文化

江戸発祥の伝統工芸品「江戸押絵」「江戸押絵羽子板」や
歌舞伎、浮世絵、着物など江戸文化が集約された伝統工芸品を学ぼう。

- (1)ねらい
- ① 本物の素材をつかってものづくりを体験する。（絹織物をつかった作品）
 - ② 国指定（経済産業大臣認定）の伝統工芸士から直接ものづくりを学ぶ。
 - ③ ものづくりの楽しさや、作る過程において自分の個性を生かし表現する楽しさを体験する。

- (2)対象者
- ・小学1年～中学3年
- 学年によって内容が変わることがあります。

- (3)講師
- 東京歳之市羽子板商組合 所属
経済産業大臣認定 伝統工芸士

- (4)形式
- ・所要時間 2単位時間～（土曜授業可）
 - ・鋏、筆記用具、筆、絵の具(白)、ボンドは各自用意して下さい。

- (5)内容
- 羽子板商組合の伝統工芸士が指導します。
- ① 講義：江戸押絵、江戸押絵羽子板の成り立ちや、歴史について。
 - ② 作品製作：学年により内容が変わることがあります。
 - ③ 交流：作品の作り方、物作りや職人さんに対する質問など。

- (6)費用
- 「無料」

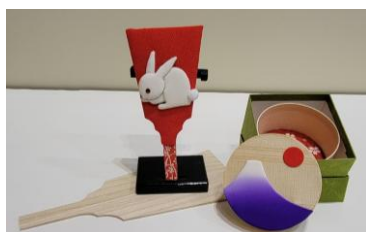
伝統的工芸品の普及の為、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の指導で行っている事業です。経費は東京歳之市羽子板商組合が負担しています。

- (7)申込み
- 出前授業申込書 実施日2ヶ月前まで ⇒学校支援ネットワーク本部へ送付

申込期間：6月1日～11月10日まで（実施決定後に所定の書式に記入が必要）

実施期間：7月～10月、1月～2月

・事後に、授業風景の写真、児童・生徒からの「感想文」（数名）を送っていただきますようお願いいたします。



作品の一例

